

地域福祉に関する市民アンケート調査

調査ご協力のお願い

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、「**地域福祉**」とは、それぞれの地域において安心して暮らせるよう、地域住民や福祉関係者、行政がお互いに協力して、地域社会の福祉課題の解決に取り組むという考え方です。例えば、隣近所の人に挨拶することや子どもの安全を地域で見守ることなども、地域福祉の活動と言えます。

この「地域福祉」の実現のために、新城市では平成26年度に「**第2次新城市地域福祉計画**」（平成27年度から平成31年度までの5年間）を策定し、推進しているところです。今年は5年間の計画の中間年度にあたり、計画の見直しを進めています。このアンケート調査は、計画の見直しに必要な資料とするために、市内にお住まいの18歳以上の方2,000人を無作為に抽出し、無記名にて回答をお願いするものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、上記趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年8月4日

新城市長 穂積 亮次

ご回答にあたってのお願い

- ご回答は、封筒のあて名となっているご本人がご記入ください。もし、ご本人の記入ができず、家族の方などが記入される場合は、あて名ご本人のご意思に基づくようご配慮願います。
- ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
- ご回答は、あてはまる選択肢の番号を選び、その番号に○をつけてください。○の数は質問によって異なりますのでご注意ください。また、記述を必要とする箇所は、ご記入をお願いします。
- その他と回答されたときは、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
- ご記入後は、同封の返信用封筒に入れ、8月21日(月)までにご投函ください。（切手は不要です）
- ご回答いただいた内容は統計的に処理し、個人にご迷惑をおかけすることはありません。
- この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

<お問い合わせ先>

新城市役所 健康福祉部 福祉介護課
電 話 0536-23-7624 (直通)
F A X 0536-23-2002



地域みんなで進めるプロジェクト

「新城市第2次地域福祉計画」の基本理念は「地域の困りごとは地域みんなで解決！山の湊しんしろ福祉のまちづくり」です。計画では、次の6つの「目標」と「地域みんなで進めるプロジェクト」を掲げています。

地域福祉の推進に向けて、市・社会福祉協議会・関係者も取り組みをしています。市民のみならずとともに推進してまいりたいと思いますので、一緒に取り組みませんか。

目標1 地域福祉の担い手づくり・担い手支援 小さなボランティア（プチボラ）から始めよう！プロジェクト

身近な地域の人への関心を持ち、一人ひとりが地域のためにできることを考え、何気ない手助けをする、そんな小さなボランティア（プチボラ）に取り組みましょう。

目標2 情報共有体制の確立 誰もが情報発信者！プロジェクト

誰もが情報発信の主体です。福祉に関する情報を伝え合い、身近な地域での情報交換の機会を増やしましょう。

目標3 多様な主体による福祉サービスの質の向上 地域密着のサービス創出！プロジェクト

地域福祉関係者が連携を図り、地域課題を発見・共有し、課題解決のために必要なサービスの質を高める仕組みを構築します。悩みや困りごとがある時は身近な支援者や相談窓口に投げかけましょう。

目標4 支援や援護を必要とする人の把握と相談・権利擁護体制の充実 相談窓口・人材ネットワーク！プロジェクト

関係者が連携を図り、相談窓口や相談に関わる人のネットワークの充実に取り組みます。身近で困っている人の相談相手になったり、相談の支援者や相談窓口について知りましょう。

目標5 日常的な見守り・支え合い活動の推進 小地域見守りネットワーク！プロジェクト

地域福祉関係者が連携を図り、支援・援護が必要な方を身近な地域で見守るネットワークの構築に取り組みます。地域で顔見知りをつくったり、見守り活動に積極的に参加しましょう。

目標6 災害時対応の役割分担・情報共有・連絡体制の確立 災害時要援護者を地域で見守る！プロジェクト

一人ひとりが災害時要援護者対策の重要性について理解し、地域でどんな役割が担えるか考えましょう。防災訓練に積極的に参加したり、防災活動への協力をしましょう。

回 答 書

問6-1 問6で1～6を選択した方にお聞きします。特によく見かける方に関して、**あなたのこれまでの対応は次のどれですか。**（○は1つだけ）

1. 常に声をかけ、相談にのる
2. たまに声をかけ、相談にのる
3. 声はかけないが、関心を持って見守る
4. 特に何もしていない・できない

問7 **あなたは、近所の人にどのような手助けや協力をしてほしいと思いますか。**
（○はいくつでも可）

1. 声かけや安否確認
2. 災害時の手助け
3. 犯罪防止活動・交通安全活動（地域の見回り等）
4. 悩み事・心配事の相談相手
5. 力仕事の手伝い（大きなごみ出し・電球換え・庭掃除等）
6. その他（）
7. 特にない

問8 **あなた自身が、近所の人に対して手助けしたり、協力できることはありますか。**
（○はいくつでも可）

1. 声かけや安否確認
2. 災害時の手助け
3. 犯罪防止活動・交通安全活動（地域の見回り等）
4. 話し相手や悩み事・心配事の相談相手
5. 力仕事の手伝い（大きなごみ出し・電球換え・庭掃除等）
6. その他（）
7. 特にない

3. 悩みごとや困りごとの相談についておたずねします

問9 **あなたは、現在、日々の生活の中で、どのような悩みや不安がありますか。**
（○はいくつでも可）

1. 自分の健康のこと
2. 家族の健康のこと
3. 収入や家計のこと
4. 介護のこと
5. 自分や家族の生活のこと（進学や仕事、親戚づきあい等）
6. 地域の治安や災害のこと
7. その他 具体的に（）
8. 特にない

回 答 書

問9-1 問9で1～7を選択した方にお聞きします。あなたは、生活上の悩みや不安を、誰（どこ）に相談していますか。（〇はいくつでも可）

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 家族や親戚 | 2. 友人や知人 |
| 3. 学校・職場の人 | 4. 隣近所の人 |
| 5. 病院・診療所 | 6. 公的な相談機関 |
| 7. その他（ | ） 8. 誰にも相談していない |

問9-2 問9-1で、「8. 誰にも相談していない」に〇を付けた方にお聞きします。誰かに相談したり、相談窓口を利用しない理由は何ですか。（〇は1つだけ）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 相談する必要がある | 2. 相談できる人がいない |
| 3. どこに相談してよいかわからない | 4. プライバシーが守られるか不安 |
| 5. 窓口が遠くて面倒 | |
| 6. その他（ | ） |

4. 地域活動・ボランティア活動への参加についておたずねします

問10 地域活動（自治会、子ども会等）やボランティア活動の参加について次の①②の質問にお答えください。それぞれ該当する数字に〇を打ってください。（〇はいくつでも可）

	① ここ1年程度の間に、参加したことがある活動	② 今後参加したい活動
清掃美化・リサイクル活動	1	1
防犯活動・防災活動	2	2
交通安全活動	3	3
高齢者福祉活動 （介護施設の訪問など）	4	4
障がい者福祉活動 （福祉施設の訪問など）	5	5
子育て支援活動 （相談支援など）	6	6
その他 ^{※1}	7→問10-1へ	7→問10-2へ
特になし	8	8
参加したいができない ^{※2}		9→問10-3へ

※1 「その他」を選択した場合は、次の問いにお答えください。

問10-1 具体的に記入してください。

（

回 答 書

問10-2 具体的に記入してください。

()

※2 「参加したいができない」を選択した方は、次の問いにお答えください。

問10-3 参加できない理由は何ですか。(○は1つだけ)

1. 仕事がある
2. 子育てや家事がある
3. 参加する方法がわからない
4. どのような活動があるのか知らない
5. いっしょに活動する仲間がない
6. その他 ()

問11 今後、あなたが活動に参加するために、必要な支援や条件は何ですか。

(○はいくつでも可)

1. 時間がなくてもできる活動であること
2. 活動に関する広報・情報の提供があること
3. 友人や家族と参加できる活動であること
4. 人間関係上の負担の少ない活動であること
5. 事故があったときの保障があること
6. ボランティア講習会や研修が行われること
7. その他 ()
8. 特になし

問12 次の地域活動やボランティア活動にかかわる次の機関のうち、あなたがご存じのものはどれですか。(○はいくつでも可)

1. しんしろ市民活動サポートセンター
2. 新城市社会福祉協議会ボランティアセンター
3. その他の機関 ()
4. いずれも知らない

問12-1 問12で1から3を選択された方にお伺いします。機関を知ったきっかけは何ですか。(○は1つだけ)

1. 機関・活動を利用するため
2. 機関・活動に参加するため
3. 利用・参加はしていないが、広報誌などで知った

問13 あなたがボランティア活動などをしたい、利用したいと思ったときどのような方法で情報を得ようと思いませんか。(○は1つだけ)

1. 広報ほのか・社協だより
2. 市役所の窓口
3. 家族、友人等からの紹介
4. インターネットの検索サイト
5. しんしろ市民活動サポートセンター・社協ボランティアセンター
6. SNS
7. その他 ()

回 答 書

5. 災害時のことについておたずねします

問14 「災害時要援護者避難支援制度」をご存じですか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことがあるが制度の内容は知らない
3. まったく知らない

問15 災害が起きた場合、隣近所に住んでいる要援護者(家族を除く)のために、あなたはどのような助け合いや協力ができると思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 安否確認・声かけ | 2. 安全な場所への避難誘導 |
| 3. 要援護者の家族への連絡 | 4. 相談・話し相手 |
| 5. 一時的な保護 | 6. 協力は困難 |
| 7. その他 () | |

6. 地域福祉全般についておたずねします

問16 「支え合う地域づくり」を進めるために、行政(市)はどのような支援を行う必要があると思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 孤立している障がい者や高齢者を把握する
2. 障がい者・高齢者などに配慮した公共施設等の整備を進める
3. 地域の人々が知り合う機会を設ける
4. 福祉サービスに関する情報提供・情報発信を充実させる
5. 身近な場所に相談窓口を増やす
6. 自治会やボランティア等の活動団体を支援する
7. 地域福祉について学ぶ機会を設ける
8. その他 ()
9. 特にない

問17 新城市地域福祉計画をご存知でしたか?(○は1つだけ)

1. 内容をよく知っている
2. 内容をある程度知っている
3. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
4. 全く知らない

回 答 書

問 1 8 新城市地域福祉計画についてのご意見・ご要望をお聞かせください。(自由記述)

問 1 9 福祉全般についてのご意見・ご要望をお聞かせください。(自由記述)

ありがとうございました。
お手数をおかけしますが、8月21日(月)までに
返信用封筒に入れてご投函ください。